

シルバー とちのは

第41号

令和3年1月15日

春

△奥日光▽
華厳滝とアカヤシオ



夏

△今市▽
日光杉並木街道



秋

△奥日光▽
竜頭ノ滝



冬

△湯西川▽
かまくらまつり



< 写真提供：日光市シルバー人材センター >

新年のあいさつ



理事長

富田 哲夫

シルバー人材センター会員の皆様には、コロナ禍の中ではありますが、健やかな新年を迎えられたこと、お喜び申し上げます。

昨年は、年が明けて間もなく、あつという間に全国に広がった新型コロナウイルス一色の年でした。その感染に脅える日常生活を送るようになって、一年が過ぎようとしています。

マスクや手洗い、消毒が欠かせず、日頃の活動や業務も制限を受けたり、楽しみにしている仲間の皆さんとの交流も思うようにできない日々が続いていることと思います。

それぞれのセンターにおきましても、入会説明会ができなかった影響で入会者が少なく、会員が減少したり、受注額も年度初めの落ち込みからは盛り返してきてはいますが、前年の同時期と比べますと、まだ及ばない状況にあります。

しかし、そうしたことを嘆いていても現状は変わりません。むしろそうした時期だからこそ、シルバー人材センターの活動により、外に出て、身体を動かして、誰かの役に立ったり、人と交流したりして、元気の素が生まれる、シルバー会員であることのメリットを生かせるのではないのでしょうか。

もちろん、十分な感染対策を講じたり、リスクを回避したりといった対策は必要ですので、細心の注意を払っていただきますようお願いいたします。

皆様が元気に活躍でき、良い年となりますようお祈りします。

センター紹介

公益社団法人
那須烏山市シルバー人材センター

◎ユネスコ無形文化遺産「山あげ祭」のまち



那須烏山市は平成17年10月1日、烏山町と南那須町が合併して誕生した豊かな緑と自然に恵まれた農業の盛んな地域であり、ユネスコ無形文化遺産「山あげ祭」など、歴史・観光資源が豊富な地域でもあります。栃木県の東部に位置し、八溝山系に属し那珂川が平野部を貫流しています。

当センターの受託事業や労働者派遣事業において受注金額が多くなっている業務は、除草や草刈り・植木の剪定やスクールバス等の運転業務となっています。

◎サークルポケット



女性の入会促進と女性が活躍できるセンターづくりが課題となる中、当センターには女性会員で構成する「サークルポケット」の手芸サークルがあります。

現在、女性会員9名が月2回女性独自のアイデアを活かし、小物作りや洋服のリフォーム、販売等を行うなど積極的に活動をしています。

今年度はコロナ禍によりマスク作りが中心となりましたが、一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息を願い、元気に活動しています。

◎門松づくり



平成3年から継続している独自事業の門松づくりは、30年間メンバーが、世代交代をしながら続いている事業で、市内外から注文を受け会員6名で例年100組前後の門松を製作しています。

門松の大きさは、50センチメートルの小さいものから、150センチメートルの大きいものまであり、地元の松や竹、ワラを使用し約1カ月半をかけて完成させています。また、市役所などの公共施設等には門松の寄贈も行っています。

◎健康福祉まつり参加



市主催の健康福祉まつりに参加して刃物研ぎや小物販売をしたり、役員によるPR活動をしています。(今年度は中止となりました)

◎新総合事業（ヘルプ）



市から委託を受け、高齢者家庭の生活支援として清掃・買い物等を行っています。

◎作業風景



< 草刈作業 >



< 植木剪定作業 >



< 体育館内のワックス清掃 >



< 障子の貼り替え >

センター紹介

公益社団法人
益子町シルバー人材センター

SLが走る 陶芸の里 ましこ



栃木県南東部に位置する益子町は、南に筑波山を望み、東に芳賀富士を仰ぐ自然あふれる中山間地域です。町の面積は 89.40 平方キロメートル、人口は 21,808 人と小さな町ですが、“ましこ”と言えば、益子焼の産地として名が知れ渡り、春・秋の陶器市には全国から多くの観光客が訪れます。

令和2年6月19日には、隣の茨城県笠間市と共同で申請していた『**かさましこ～兄弟産地が紡ぐ“焼き物語”**』が日本遺産に認定されました。

令和2年はコロナ禍に見舞われ、春・秋の陶器市は中止となりさらには、夏の祇園祭や秋の福祉まつり、町民まつりなどの町のイベントも中止となりました。当センターだけでなく、町全体が耐え忍ぶ年となってしまいましたがそのような中でも、自然の草木は世の中の状況などお構いなしにぐんぐん成長しています。

当センターは、新型コロナウイルスの感染防止対策に万全を期しながら、住民の要望に応えるべく、会員全員が一致団結し様々な事業に努めているところです。

植木班：丁寧な剪定を心掛けています



剪定前の空家



剪定後の空家

草刈班：関東ふれあいの道の草刈り



適度な間隔を空け安全就業

ボランティア活動（令和3年1月予定）



福祉センターのベニカナメの剪定

こんなことも行ってます。

空家管理



水出し作業

会員手作りの作品展示・販売



町民まつり（今年度は中止で残念）

センター紹介

公益社団法人
上三川町シルバー人材センター



<公園管理：田川ふれあい公園>



共に創る 次代に輝く 安心・活力のまち

上三川町は栃木県中南部に位置し、総面積は54.52平方キロメートルで人口は31,000人程の町です。東京から100キロメートル圏内の場所であり、北関東道・新4号国道・を絡め、県内でも有数の交通の拠点として、自動車製造を始めとした工業の盛んな町です。また、町名の由来ともいわれております三本の川(鬼怒川、田川、江川)に恵まれた土地であるため、農作物の生産も充実しております。

令和4年10月に開催される「いちご一会とちぎ国体」では、上三川町でフェンシング競技会が行われます。これに向けて、会場となる町体育センターの改修工事が行われたところです。

多種多様な就業

当センターは平成元年に設立され、平成23年9月に現在の場所に移転しました。令和元年度末の会員数189名、平均年齢72.5歳、同年度の受託事業収益は128,617千円です。

会員は、屋外作業(除草・植木剪定・清掃等)や屋内作業(清掃・軽作業・施設管理等)、技能作業(表層表具・大工作業等)といった様々な作業を請け負っております。また、町内の大型ショッピングセンターでは40名近い会員が派遣され、多種多様な仕事に就いております。

独自事業としては、陶芸品とふくべ細工の製作・販売をしております。陶芸品は、楽しみながらも勉強を重ね、本格的な作品を製作しております。また、ふくべ細工は、町特産品の干瓢の原料となる夕顔の外皮を数年乾かしてから彫刻細工を施したもので、他では見られない工芸品です。その他、手芸品も会員の感性を生かした素敵な作品が多数あります。



<大作業パーテーション>



<陶芸品>



<ふくべ細工>

あなたの街の会員紹介

ひとみ 人見 ただよし 忠義さん 公益社団法人那須町シルバー人材センター

当センターで活躍されている人見忠義さんをご紹介します。

人見さんは大手企業で事務の仕事を42年間勤め、その後70歳でシルバーの会員登録をしました。希望した職種は草刈り作業。人見さんはシルバー会員になってから初めて刈払い機を取り扱ったとのこと。エンジンのかけ方から覚え、先輩方に作業の手順、草刈り技術を教えてもらう毎日とのことでした。事務40年のキャリアを活かすのではなく、草刈り作業を選択しましたが不安はなかったのですかと問いに「新しいことにチャレンジ」という気持ちで毎回の作業を楽しんでいたとのこと。その後も人見さんのチャレンジは続き、植木剪定作業の会員不足を補うため職種を変更。一から剪定作業の勉強を始め、各種講習会に参加。先輩方が剪定した植木を観察し技術を学ぶなど「一度始めたら途中で止めたくない」「努力すれば人間何でもできる」そんな前向きな姿勢で作業を続け、入会されてから10年、今年80歳になった今も植木剪定作業の第一線で活躍しています。



そんな人見さんの趣味は健康づくりです。毎朝5時半に起床し、近所にある高久愛宕山公園の勾配のある坂道の上下り、体操、各種筋トレを1時間ほど行うトレーニングが日課になっています。毎日の健康づくりで丈夫な体を維持しているのは、お客さんに喜んでもらう仕事をするためとのこと。「とてもきれいになった、ありがとう。」その言葉を言われると、とても嬉しく誇らしい気持ちになるとのことです。

いつも元気な人見さん。これからもシルバー人材センターの会員として元気に活躍していただきたいと思いをもちます。(那須町 SC 主事 鈴木誠人)

かわかみ 川上 じゅうい 十亥さん ・ くろす 黒須 くにあき 邦昭さん ・ しおざわ 塩澤 しゅうじ 修治さん 公益社団法人市貝町シルバー人材センター



(左から塩澤さん、川上さん、黒須さん)

当センターで活躍されている川上十亥さん、黒須邦昭さん、塩澤修治さんをご紹介します。

川上さんは平成18年、黒須さんは平成21年、塩澤さんは平成27年にそれぞれ入会され、主に草刈りや植木手入れ、伐木の仕事をされています。3人で作業する機会が多く、抜群のチームワークと技術の高さから発注先はもちろん、会員、職員からも絶大な信頼を得ています。

3人とも農業従事者であるため、特に田植えや稲刈りの時期は多忙を極めますが、空いた時間を見つけては、作業を受けてくださるとも頼もしい会員さんたちです。

川上さんは御年85歳、年齢を感じさせない体力と仕事ぶりに、会員からは「化け物」と呼ばれています。作業中の真剣な眼差しから一変、休憩中のはにかんだ笑顔が何とも可愛く、会員に癒しを与えてくれる存在です。

黒須さんは理事を務められており、当センターの運営等について、いつも気にかけてくれています。責任感が誰よりも強く、周りの会員を上手くまとめてくれる頼れるリーダーです。

塩澤さんはこの3人の中では1番入会した日が遅いのですが、高い適応力で、すっかりベテランの域に達しています。職人気質で実直な作業ぶりは誰もが見とれてしまうほどです。

また、この3人はプライベートでも親交が深く、作業道具を一緒に買いに出かけたり、お互いの家を行き来するなど公私にわたり仲が良く、羨ましい限りです。3人とも口を揃えて気にしているのは、今後の当センターを担う人材の発掘と後継者の育成です。その取組みにも積極的に参加、協力して下さっています。これからも未永く当センターの会員として、また、他の会員の模範として活躍していただきたいと思いをもちます。

(市貝町 SC 主任 鈴木正子)

なるせ 成瀬 富美男さん

公益社団法人栃木市シルバー人材センター



当センターで活躍されている成瀬富美男さんをご紹介します。成瀬さんは、平成21年11月に入会され、現在は当センターの理事と総務委員会の委員長を務めて頂いています。東京消防庁で賞状筆耕をしていた経験を活かし、当センターでも筆耕のお仕事をされています。また、入会後に講習会を通じて技術を習得し、今では障子貼りの仕事も精力的にして頂いています。貼り替えた障子を納品した時にお客様から「きれいになったね」「ありがとう」の言葉をもらえる瞬間が何より嬉しいとの事です。

そんな成瀬さんは仕事だけでなくイベントでも大活躍。当センターのカラオケ大会（残念ながら今年はコロナ禍の為中止）やグラウンドゴルフ大会でもパソコンを駆使してプログラムや名簿を作成し、イベント当日は司会進行も行うなど、大変な役割を率先して引き受け、周りからの信頼も厚い方です。

センターの活動以外では趣味で仲間と一緒に木彫りの彫刻をされています。

また、栃木県シルバー大学校の中央校と南校で講師として教鞭をとっておられ、戦国武将の苗字を熱心に研究しています。シルバー大学校の生徒さんたちのご先祖様の中に、自分が研究している戦国武将がいるかもしれないというロマンが魅力との事です。

何事にも積極的な成瀬さん、ご本人曰く、その行動力の秘訣は「何にでも興味を持つこと」

これからも元気いっぱいに栃木市シルバー人材センターをさらに盛り上げていただきたいと思います。



(栃木市 SC 主任 高田裕市)

令和2年度活動報告

公益社団法人 那須塩原市シルバー人材センター



当センターでは、毎年普及啓発促進月間初日に那須塩原市長、那須塩原市市議会議長へ、シルバー人材センターへのさらなる支援要請をお願いするべく訪問活動を行っています。本年度、那須塩原市長からも「コロナ禍で大変ではありますが、無理なさらず精一杯頑張ってください。市としても応援します。」とのお言葉をいただきました。

例年は、シルバーの日を中心に「清掃奉仕作業」「お友達紹介クチコミ大作戦」「市内イベントでのセンターブースの開設」など、多くのPR活動

を行っていますが、コロナ禍から市の事業も中止となり思うように活動が進んでいません。

当センターの「シルバーの日清掃奉仕作業」は、センター理念『自主・自立、共働・共助』を実現すべく、53班に分かれている地域班を活用し、地域班長が中心となって事業展開をしています。作業場所の選定や、作業指示、集めたゴミの分別や処分まで、すべて会員（地域班）で完結させています。市内に広く分かれて実施することで地域の方々の目にとまり、感謝の言葉を頂くことも多くあり、充実した奉仕作業になっています。With コロナとしては、対面PRにこだわらず、市の広報への広告掲載を活用しています。多くの方に入会いただき、お仕事についていただけるよう、役職員一同頑張っています。



公益社団法人 宇都宮市シルバー人材センター



当センターでは、シルバー事業の普及啓発促進月間行事として、令和2年10月19日から23日にかけて宇都宮市役所1階ロビーにおいて、「シルバーパネル展」を開催しました。



このパネル展では、会員の皆さんがそれぞれの分野で生き生き働く姿や、奉仕作業で地域に貢献している写真等を掲示したほか、独自事業で製作している編みぐるみの「カエルのちょこちゃん」や、新型コロナウイルスの終息を願って新たに作られた編みぐるみ「黄ぶな」も展示しました。



また、今回、会員募集用のポスターを一新し、キャッチフレーズを「生涯現役という生き方しませんか?」とシニア世代に問いかける内容としたものも掲示しました。

今年度は、コロナ禍の影響もあり、当センターが参加予定であったイベントが全て中止になり、対面でのPR活動が思うようにできませんでした。次年度以降、センターのことをより知っていただけるような効果的なPR方法を検討していきたいと思っております。

今年度は、コロナ禍の影響もあり、当センターが参加予定であったイベントが全て中止になり、対面でのPR活動が思うようにできませんでした。次年度以降、センターのことをより知っていただけるような効果的なPR方法を検討していきたいと思っております。



好評販売中の
「黄ぶな」のストラップ

公益社団法人 茂木町シルバー人材センター

当センターでは、10月の第1日曜日に「シルバーの日」のイベントとして、「道の駅もてぎ」で手芸品の販売やシルバー事業のPRを実施しています。そのため、毎年8月（令和2年は8月17日～21日の5日間）に女性部会を開いて、シルバーの日に何を販売するのかを話し合い、製作に取り組んでいます。今年は12名が製作に携わり、アイデア多彩な手芸作品が出来上がりましたが、コロナ禍のため、「道の駅もてぎ」のイベント開催を断念せざるを得ませんでした。



せっかく女性会員が製作した作品を何とか販売出来ないかと事務局で考え、関係各所と調整をした結果、「シルバーの普及月間」と称し、新規会員の募集PRとともに、商品販売を事務所が入る元気アップ館で開催する運びとなり、新たな試みとして実施しました。



期間は10月1日から31日の1ヶ月間。開催場所の変更や例年好評の実演も出来ないため、来場者が訪れるか不安もありましたが、会員の口コミや新聞等でのPRにより、たくさんの方にお越しいただき、刃物研ぎや襦・障子張りの受注も増えました。来年は「道の駅もてぎ」で開催できることを願っています。

令和2年度連合会活動状況

生きがいを持ち、社会の担い手として活躍する高齢者を増やし、地域社会の活性化を図るため、連合会では令和2年度の重点事項として、①会員拡大②安全・適正就業の確保③就業機会の拡大を掲げています。

会員拡大・普及啓発推進事業

会員拡大については、シルバー事業のイメージ転換を目指したPRを行うとともに、特に女性会員の入会促進を図るため、ポスターに女性を前面にアピールしたデザインに変更したり、女性会員特有の就業状況の調査や女性役職員等による組織化など、女性の活躍推進と会員増の取組みを積極的に行いました。

◎広報活動

連合会では、シルバー人材センターが地域の支え手として活躍していることをアピールするため、特に10月をシルバー事業普及啓発促進月間と定め、PR活動に努めました。

普及啓発促進月間では、「生涯現役」のポスターを作成し、各センター及び関係機関に配布するとともに、JR宇都宮駅前に横断幕の掲出を行ったほか、地元のテレビやラジオ、新聞を利用し「入会促進や仕事の依頼について」幅広い世代の方々に発信しました。

今年は新型コロナウイルス感染症の影響により、県主催の「県民の日」及び「介護の日」のイベントが中止となったほか、各センターでの地域貢献活動やイベントが自粛となるなど、地域の方々との交流が十分にできませんでした。普及啓発促進月間での広報活動を通して、広く県民の方々の目に止まったことと思います。

今後も、生きがいと地域の高齢者を結ぶため、効果的な普及啓発活動に努めていきます。



普及啓発促進月間用ポスター



<JR宇都宮駅にて横断幕の掲出>

◎女性会員の拡大



<ワーキンググループの様子>

企画広報委員会では、会員拡大やシルバー事業の普及啓発に関する新たな取組みをしています。

今年度は新たに女性会員の入会促進を図り、自らが生き生きと輝く活動を広げることができるよう、県内各センターの女性役職員等で構成する「栃木県シルバー人材センター女性の会（仮称）」の立ち上げを進めています。

8月及び9月には、組織の立ち上げに向け、参加を希望したセンターの役職員等13名によるワーキンググループを2回開催し、組織の構成や今後の活動を検討するとともに、グループ討議を行い、自由な発想を交えながら、意見交換や情報の共有を行いました。

ワーキンググループの意見等を踏まえ、企画広報委員会及び10月の事務局長会議において検討、報告を行い、現在令和3年2月の立ち上げに向け作業を進めています。

安全・適正就業推進事業

連合会では重点事項に取り組むため、安全・適正就業委員会において会員が事故なく怪我なく楽しく就業できるよう助言・指導を行い、会員の安全で適正な就業を推進しています。

毎年、就業中及び就業途上の傷害事故の発生が後を絶たない状況にあり、傷害・損害事故の防止及び適正な就業体制の確保を図るため、特に会員の高齢化に対応できるよう安全就業の徹底に取り組んでいます。

7月には、全シ協の安全・適正就業強化月間に合わせ、栃木連合統一の実施事項を掲げ県内センター一斉に安全・適正就業強化月間を実施しました。

全シ協による「いつまでも 働く喜び 無事故から」のスローガンのもと、ポスター等の配布、安全・適正就業パトロールの巡回強化や各センターとの意見交換等、会員の就業中及び就業途上の安全対策の徹底を図りました。

◎安全就業物品について

例年、安全就業の物品といえば、蜂スプレーやヘルメットを希望する声が多いですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、会員の安全就業の確保のため各センターにマスクを配布しました。マスクが手に入らない時期でしたので、「非常に助かった！」との声を聞きました。まだまだ、予断を許さない日が続きますので、引き続き感染拡大の防止対策に努めていきます。

◎安全適正就業パトロールの実施

安全・適正就業推進事業の一つとして7月から9月にかけて、センターの実施する安全就業パトロールに連合会役職員が同行し、就業環境や安全対策の確認を行い、必要な助言、指導を行いました。

栃木県は全国と比べ事故発生の度数率及び強度率が高い傾向にあるため、今年度からパトロールの対象センターを5センターから8センターに増やし、安全就業の周知徹底をより強化しました。

また、センターにおける取組状況や課題など、現場の声を今後の事業展開に活かしていくため、安全就業委員やセンター役職員との意見交換の場を新たに設けました。

意見交換をしたセンターの安全就業の取組み事例としては、パトロール回数の増や、会員の自己チェックリストの活用、既存のチェックリストの見直し、使用する用具類の点検等、積極的な安全確保に努めるほか、近隣センターと連携した講習会の開催など、他のセンターにも参考になりそうな取組が行われています。

適正就業につきましては、全シ協の指導マニュアルに沿った定期指導として、8センターを対象に適正就業の取組及び関係書類の確認を行っています。

今後とも安全・適正就業委員会及び各センターの役職員、会員の方と協力し、安全かつ適正な就業の確保に努めてまいります。



<野木町 SC 草刈りの様子>



<上三川町 SC 草むしりの様子>

就業開拓推進事業

就業開拓推進委員会が中心となって、県内外の就業拡大対策の情報収集を行うとともに、会員の就業ニーズや地域の企業等のニーズを広く発掘し、会員のニーズに合った就業機会拡大のため、各センターに必要な支援を行っております。

また、高齢法第 39 条第 1 項の規定に基づく業務拡大について指定を受けて、新規就業先及び事業拡大を推進しております。

◎県や関係機関への支援要請活動

全国シルバー人材センター事業協会の定時総会を経て決議された要望書に併せて、連合会からの「高齢者が健康で生きがいをもって就労することができる機会を確保し、地域社会に貢献するシルバー人材センター事業の趣旨について御理解いただき、事業発注の確保などについて御支援・御協力いただくようお願い」する旨の要望書を 7 月 30 日・31 日及び 8 月 7 日に社会福祉団体や商工団体・農業団体等に対して要請活動を行いました。

また、高齢法第 39 条に基づく業務拡大を活用した就業開拓の推進についての説明を重ねてお願いしました。

< 知事あての要望書 >



栃木県保健福祉部 海老名保健福祉部長 連合会 富田理事長

◎会員の就業能力の向上

連合会の支援として、11 月 16 日から 30 日にかけて派遣事業で運転業務に従事する会員 41 名に対して、派遣会員が自動車運転について自身の運動能力を再確認するため「高齢者自動車安全運転適性診断」を実施しました。

◎高齢法第 39 条第 1 項の規定に基づく業務拡大について

労働派遣事業及び職業紹介事業の就業時間が一部拡大しました。

シルバー人材センターが行う労働者派遣事業及び職業紹介事業において、高齢法第 39 条第 1 項の規定に基づく業務拡大に係る要件緩和の対象となる業種及び職種について栃木県が令和 2 年 2 月 1 日付で指定しました。

この指定により、県内全域で、労働者派遣事業及び職業紹介事業（18 業種 11 職種）において週 20 時間を超える就業が可能となりました。ただし、今回指定以外の業種・職種の派遣・職業紹介や請負・委任による就業は従来通り概ね月 10 日程度又は週 20 時間を超えない範囲となります。

業種 (日本産業分類中分類)	職種 (厚生労働省編職業分類中分類)	業務内容の一例
A01 農業	G46 農業の職業	農作物の収穫作業
E09 食料品製造業	H62 製品検査の職業 (金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く)	食料品検査
	K77 包装の職業	梱包作業、ラベル貼り作業
E14 パルプ・紙・紙加工品製造業	K78 その他の運搬・清掃・包装等の職業	パレットへの積み替え作業
E16 化学工業	K78 その他の運搬・清掃・包装等の職業	出荷の仕分け作業
E18 プラスチック製品製造業	H54 製品製造・加工処理の職業 (金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く)	農業用ビニール加工作業
E24 金属製品製造業	I66 自動車運転の職業	貨物自動車運転
	K78 その他の運搬・清掃・包装等の職業	工場内軽作業
E25 はん用機械器具製造業	H57 機械組立の職業	機械組立
E31 輸送用機械器具製造業	H52 金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断の職業	バリ取り
I56 各種商品小売業	K78 その他の運搬・清掃・包装等の職業	品出し業務
I58 食料品小売業	H54 製品製造・加工処理の職業 (金属材料製造、金属加工、金属溶接・溶断を除く)	商品加工、バック詰め
	K78 その他の運搬・清掃・包装等の職業	カート整理、品出し業務
I59 機械器具小売業	K76 清掃の職業	自動車販売会社での洗車作業
K70 物品賃貸業	K76 清掃の職業	車両、建設機械の洗車作業
L74 技術サービス業 (他に分類されないもの)	K76 清掃の職業	施設の清掃
P83 医療業	I66 自動車運転の職業	送迎車の運転
	K76 清掃の職業	施設の清掃
P85 社会保険・社会福祉・介護事業	E42 その他のサービスの職業	保育補助
	I66 自動車運転の職業	バスの運転、送迎車の運転
Q87 協同組合	K78 その他の運搬・清掃・包装等の職業	選果場での箱詰め作業
R92 その他の事業サービス業	K76 清掃の職業	施設の清掃
S98 地方公務	E41 居住施設・ビル等の管理の職業	体育施設、生涯学習施設の管理
	E42 その他のサービスの職業	保育補助
	I66 自動車運転の職業	バスの運転、送迎車の運転、ゴミ収集車運転
	K76 清掃の職業	生涯学習施設、市町庁舎内等の清掃、ゴミの収集作業

※対象となるのは、業種と職種が一致する業務となります。

高齢者活躍人材確保育成事業

県連合会では、栃木労働局からの受託事業として、生きがいをもって働くことに関心のある高齢者にシルバー人材センターへの入会を促したり、会員の新たな就業先となる県内の企業や事業所の開拓を目的に取り組んでいます。

① 周知・広報

令和2年度は、シルバー人材センターをより広く周知・広報するために、今までの新聞やラジオ広報誌による広告に加え、とちぎテレビにてCMの放映(10月～12月)、ラッピングバスによる広告(県内9路線/8月～翌3年2月)を実施しています。

また、10月31日に宇都宮市で開催した「60歳からのいきいきライフセミナー」には、県内各地から89名の参加がありました。シルバー人材センター会員による体験談のほか、ビッグツリースポーツクラブの田中正晃トレーナーによる「いつまでも健康に働くために」と題した講演と体操の実演、さらに、俳優の毒蝮三太夫さんから「まむし流元気で長生きするコツ、させるコツ」と題して、自らの体験を交えた楽しいお話や司会者とのトークショーを行い、センターの活動について理解を深めていただきました。

その後、女性の入会促進を図るため「シニア女性のための60歳からのいきいきライフセミナー」と題して、11月14日に大田原市、11月28日に小山市で開催しました。両日とも、地元シルバー人材センターの会員の体験談とともに、東京都健康長寿医療センターの桜井良太理学療法士・博士の「シルバー人材センターを通じた健康づくりのススメ」と題した講演や、印象戦略家ちとせさんの「健康寿命を延ばす“楽笑人生”」として、自らの生い立ちから学んだことや人生百年時代に役立つ貴重なお話をいただきました。

2会場には合わせて89名の方が参加され、大変好評でした。



< 毒蝮三太夫さんのトークショー >



< 田中正晃さんによる体操実演 >



< 桜井良太さんによる講演 >



< ちとせさんによるスマイルトレーニング >



< テレビCMの放映 >



< ラッピングバスによる広告 >

② 就業体験

就業体験では、センターに入会して就業することに関心のある高齢者を対象にして、派遣会員の就業先現場を見学したり、公共施設の清掃や、管理などの請負の仕事のほか、裁縫小物作りや石鹸作りなどのセンター独自の事業を直接体験していただき、12月末現在で17か所31名の方が参加され、うち13名の方が入会されました。

③ 技能講習

センターでの就業に必要な知識や技術を身に付けてもらうための技能講習では、「刈払機安全取扱」や「オフィスクリーニング」に加え、今年度から女性を対象とした「調理補助」及び「学童保育支援」の回数を増やし、「接客・接遇基礎」を新たに追加しました。

全講習の6種類を延べ20回開催(昨年度は16回)し、12月末現在で200名(昨年度12月末は132名)の方が受講されました。

講座・セミナーのお知らせ

令和2年度 生涯を通じた女性の健康を考える講座 『ストレスに負けない！表情筋トレーニングで最高の笑顔を手に入れよう！』

開催日時 令和3年2月6日（土） 13時30分～15時30分
会場 とちぎ男女共同参画センター パルティホール
対象 どなたでも / 定員 70名（先着順）
受講料 無料 （定員100名から70名に変更となりました）
申込締切 令和3年2月5日（金）
お問合せ（お申込み） 栃木県とちぎ男女共同参画センター 事業推進課
 TEL：028-665-8323 FAX：028-665-8325 URL：http://www.parti.jp/

企業向けセミナー（個別相談会）開催のご案内

開催日時 令和3年2月10日（水）14時00分～16時00分
会場 とちぎ健康の森1F 大会議室 宇都宮市駒生町3337番地1
対象 団体、企業、個人事業主の方など、お仕事を依頼したい方
参加料 無料
申込締切 参加者数把握のため1月25日（月）までとしておりますが、当日参加受付もしております。
お問合せ（お申込み） 栃木県シルバー人材センター連合会
 TEL：028-627-1179 FAX：028-627-2522

* 詳しい案内、申込フォームは連合会ホームページでご覧いただけます。

栃木労働局委託事業 高齢者活躍人材確保育成事業

表紙写真に寄せて

春【華厳滝とアカヤシオ】 日本三名瀑の一つ、中禅寺湖の水が高さ 97 メートルの岸壁を一気に落下する壮大な滝で、自然が作り出す雄大さと華麗な造形美の両方を楽しむことができます。

夏【日光杉並木街道】 日光街道・例幣使街道・会津西街道の3つの街道に渡り、全長 37 kmもの道の両側に約1万 2350 本もの杉の木がうっそうとそびえ立つ並木道です。

秋【竜頭ノ滝】 奥日光三名瀑の一つ、滝つぼの近くが大きな岩によって二分され、その様子が竜の頭に似ていることからこの名がついたといわれています。

冬【かまくらまつり】 日本夜景遺産にも認定され、平家の落人伝説で知られる栃木の秘湯湯西川温泉で毎冬に催されるイベントです。雪遊びやかまくらの中でのバーベキュー、川敷に無数に並ぶミニかまくらにローソクの灯火等、幻想的な光景が広がります。

事務局だより

新型コロナウイルス注意喚起

新型コロナウイルスの感染拡大が依然として続いている状況であり、連合会としてもより一層の感染防止対策に努め、この状況を乗り越えていきたいと考えています。

会員の皆様におかれましても、健康あつてのシルバー活動ですので、感染防止対策の徹底に努めていただきますようお願いいたします。

企画広報委員会

● 今泉 信男 委員長（栃木県シルバー人材センター連合会）

- 高田 裕市 委員（栃木市シルバー人材センター）
- 阿久津正幸 委員（日光市シルバー人材センター）
- 白井 亮子 委員（那須塩原市シルバー人材センター）
- 加藤 久美 委員（上三川町シルバー人材センター）
- 鈴木 正子 委員（市貝町シルバー人材センター）
- 鈴木 誠人 委員（那須町シルバー人材センター）

編集後記

企画広報委員並びに執筆していただいた皆様のおかげで、とちのは第41号を刊行することができました。御協力ありがとうございました。

公益財団法人 栃木県シルバー人材センター連合会

〒320-8503 栃木県宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森内

TEL:028-627-1179 FAX:028-627-2522 https://www.tochigi-silver.jp/